

## 【振り返りカードの特徴】

### 低学年ブロック

- ・毎回の EL でめあてに対しての達成状況をジェスチャー（◎・○・△）で確認したり、「がんばったこと」や「気づいたこと」を発表したりし、簡単に振り返りができるようにしている。
- ・単元のゴールの活動の際には、1 学年では達成状況を色で塗る振り返り、2 学年では簡単な文で書く振り返りをしている。段階を踏んだ振り返りでめあてを意識することにより、中学年での振り返りにつながるようにしている。
- ・振り返りをする際には、目標表現をつかって、単元のゴールの活動ができたかどうかを自己評価できるように投げかけている。
- ・単元ごとに振り返りを行うことにより、自分の成長に気づき、学ぶ意欲につながるようにしている。

### 中学年ブロック

- ・毎回の EL で5分間振り返りの時間をとり、文で書く時間を設けている。
- ・「がんばっていた人」、「初めて知ったこと」「めあて達成度（♥の中に塗る）」、振り返りの欄文で構成されている。
- ・単元のゴールの活動を記載し、ゴールにたどり着くためのポイントを確認する。そこで、自分に足りていないこと、もっと練習したいことを考えて記入できるようになっている。
- ・毎時間の伸びが分かるように、EL ごとに記入欄を分けている。
- ・振り返りの視点をカードにのせることで、視点に沿った振り返りができるようにしている。

### 高学年ブロック

- ・毎回の EL で、5分間振り返りの時間をとり、文で書く時間を設けている。
- ・振り返りカードは、単元のゴール、学びの地図、記述式の振り返りの欄、4 線で構成されている。
- ・学びの地図には、単元のゴールまでの道のりにおいて、今自分がどこにいるかを視覚的に分かるようになっている。
- ・記述式の振り返りでは、単元のゴール、学びの地図、振り返りのポイントを参考に記述する。個人の到達度によっても、書ける量が異なるため、各時間の仕切りは設けていない。
- ・振り返りカードの裏面に、自分が言ったことを一文で書く欄を設け、書き貯めることで、児童の主体性を高める作りになっている。